

# Hisense

2.1ch シアターサウンドシステム

## SOUNDiVA

**取扱説明書**

---

### HS2000N

お買い上げいただきましてありがとうございます。

**この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。**

お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

# 目次

安全上のご注意 .....	3
ライセンスおよび商標などについて .....	8
使用上のご注意・お手入れについて .....	9
1. 同梱品 .....	10
2. 各部の名前や役割 .....	11
2.1 本機 .....	11
2.2 リモコン .....	12
3. 準備 .....	12
3.1 リモコンの準備 .....	12
3.2 リモコンの電池交換 .....	12
4. 接続 .....	13
4.1 HDMI ARC端子で接続する .....	13
4.2 OPTICAL端子で接続する .....	13
4.3 COAXIAL端子で接続する .....	13
4.4 AUX端子で接続する .....	14
4.5 電源接続する .....	14
5. 基本操作 .....	14
5.1 スタンバイ/オン .....	14
5.2 オート スタンバイ/オート ウェイク .....	14
5.3 入力を切り替える .....	15
5.4 音量を調整する .....	15
5.5 サラウンドをオン/オフする .....	15
5.6 イコライザー (EQ) 効果を選択する .....	15
5.7 BASS/TREBLEを調整する .....	15
5.8 LEDの明るさを調整する .....	15
5.9 音声プロンプトオン/オフ .....	15
5.10 工場出荷時設定にリセット .....	15
6. AUX/OPTICAL/COAXIAL/HDMI ARC の操作 .....	15
7. USB の操作 .....	16
8. Bluetooth の操作 .....	16
9. トラブルシューティング .....	17
10. 仕様 .....	18

## 安全上のご注意

ご使用前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。



**警告**

この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。



**注意**

この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味  
(例)



気をつけていただきたいという記号です。



してはいけないという記号です。



していただきたいという記号です。

## 安全上のご注意（つづき）



警告（電源ケーブル・プラグ）



コンセントや配線機器の定格を超える使用かたや、交流100V(50/60Hz)以外では使用しない。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

電源ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、ケーブルが破損して、火災・感電の原因になります。



電源ケーブルを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になることがあります。電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源ケーブルを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差し込んでください。



電源プラグは手の届く場所にあるコンセントに差し込む

万一の異常や故障の時、また長期間使用しないときなどに役立ちます。



電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因になります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。



電源ケーブルに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因になります。



他の電源ケーブルを本製品に使用したり、付属の電源ケーブルを他の商品に使用しない

火災・感電・ショートの原因になります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因になります。



運搬/移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

## 安全上のご注意（つづき）

### 警告（使用）

#### 分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

#### 煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

#### 本機を落としたり、強い衝撃を与えない

火災・感電・故障の原因になります。

#### 本機の開口部分に手や指を入れない

けがの原因になります。

#### 乾いた布のみを使って清掃する

外装のお手入れは、乾いた柔らかい布で軽くふいて下さい。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。

#### 内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものや火のついたローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因になります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。

#### 長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く

万一故障した時、火災の原因となることがあります。

#### 大きな音量で長時間使用しない

聴覚障害の原因になります。

#### 本機の開口部分に金属片や紙片などの異物を入れない

火災・感電・故障の原因になります。

### 警告（電池）

#### 電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池は太陽光、火などの過度の熱にさらさないでください。電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておく、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

#### 指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

## 安全上のご注意（つづき）



警告（移動、設置）



### 使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。



### 壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に付けてもらう

専門業者以外の人を取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因になることがあります。



### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因になります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。



### 水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。



### 本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因になることがあります。



### 通気を良くするために本機の周りは5cm以上の間隔を開ける

熱がこもり、火災の原因になることがあります。



### 本機をアンプなど熱を発する機器の上に設置しない

変色や変形、火災の原因になります。



湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、ホットカーペットの上や熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。



### 屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



### 心臓ペースメーカーや除細動器の装着部から15cm以内で使用しない

本機の発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響をおよぼす原因になります。



### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- ・ 逆さまにしない。
- ・ 棚や押入の中に置かない。
- ・ 布をかけない。

## 安全上のご注意（つづき）



注意

**!** お手入れのときや、旅行などで長期間で使用にならないときは、電源プラグを抜く  
お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機はスタンバイにただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所が一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

**⊘** 電源ケーブルを熱器具に近づけない  
電源ケーブルの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

**!** 人が通行するような場所に置かない・ケーブル類は正しく配置する  
電源ケーブルや信号ケーブルは、足に引っかけるなど製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っ掛けたりするようなおそれのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

**!** 電源プラグは確実に差し込む  
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

**⊘** たこ足配線をしない  
火災・感電の原因となることがあります。

**⊘** 重いものを置いたり、上に乗ったりしない  
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

**⊘** 風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



注意（電池）

**!** 指定された種類の電池を使用する  
間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

**⊘** 電池は幼児の手の届くところに置かない  
電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

**⊘** 電池の液がもれたときは素手でさわらない  
・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。  
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

**!** 廃棄するときは  
廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## 安全上のご注意（つづき）



注意（廃棄）



一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。  
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を  
捨てないでください。



地域・自治体の条例または規則に従っ  
て廃棄する

## ライセンスおよび商標などについて



Bluetooth® の文字とロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、そのマークの使用が許諾されています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者のものであります。



HDMI および HDMI の高解像度マルチメディアインターフェースの用語および HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



Dolby Laboratories からの実施権に基づき製造されています。Dolby, Dolby Audio およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories の登録商標です。



DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照。DTS, Inc. (米国 / 日本 / タイに本社を置く企業向け) または DTS Licensing Limited (他のすべての企業向け) のライセンスを受けて製造されました。DTS, 米国およびその他の国において DTS, Inc. の登録商標または商標です。© 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.



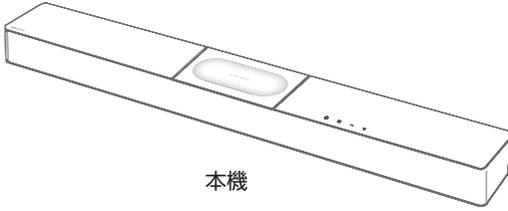
本製品を正しく廃棄してください。本製品にこのマークがある場合、EU 地域で当製品をお客様の家庭廃棄物と一緒に廃棄することはできません。規制に従わない廃棄物による環境または身体への悪影響を防ぐため、マークが付いた製品は他の種類のごみと分別し、リサイクルして材料資源の再利用に貢献してください。使用済みデバイスを返却するには、返品および回収システムを使用するか購入先の販売店にお問い合わせください。簡単に使用済みイスをリサイクルして環境のために良いことを行えるようにしています。



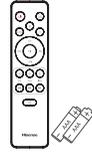
本規格は、本製品が指令 2014/53/EU の必須要件およびその他の関連規定に適合していることを宣言します。



# 1. 同梱品



本機



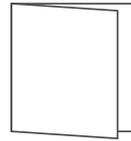
リモコン  
単4電池 × 2 \*\*



HDMIケーブル



AC電源ケーブル

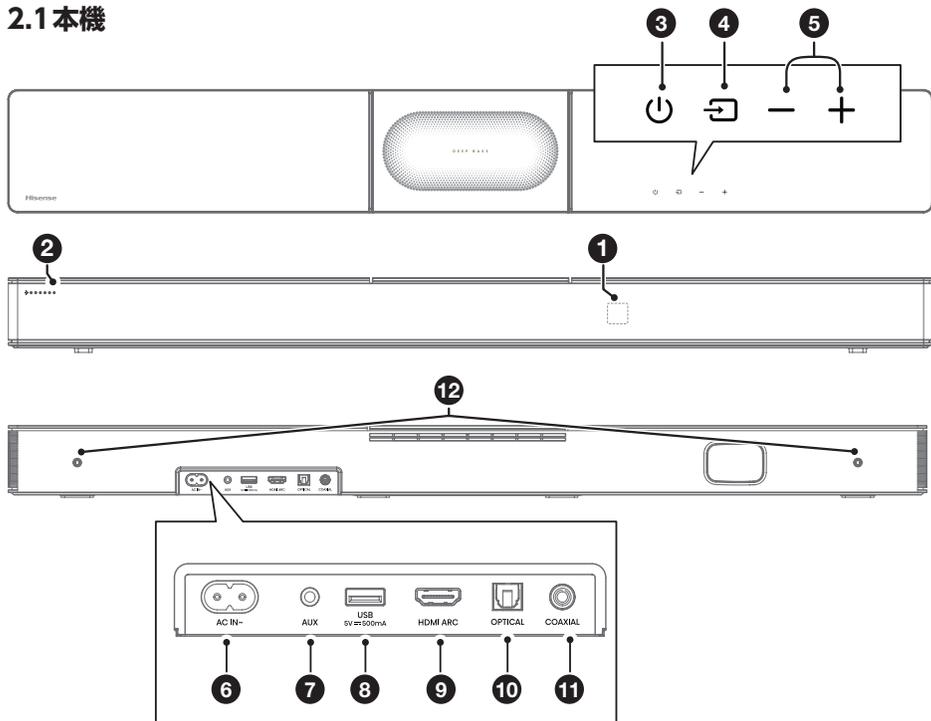


取扱説明書

- この取扱説明書に示されている画像、イラスト、図面は参考であり、実際の製品は外観が異なる場合があります。

## 2. 各部の名前や役割

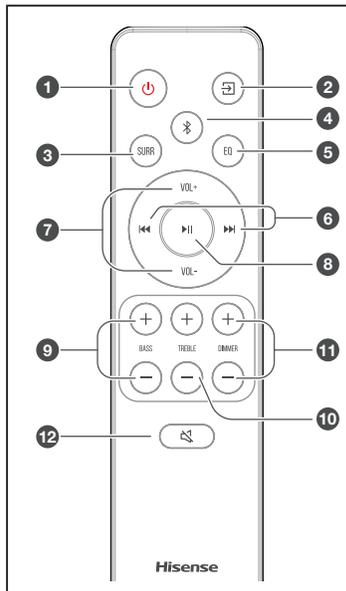
### 2.1 本機



- ① **リモコン センサー**  
リモコンから信号を受信します。
- ② **LED インジケータ**
- | ランプ   | モード            |
|-------|----------------|
| ●赤    | スタンバイ          |
| ●緑    | AUX            |
| ●青    | BT (Bluetooth) |
| ●オレンジ | OPTICAL        |
| ●薄い青  | COAXIAL        |
| ●白    | HDMI ARC       |
| ●黄    | USB            |
- ③ **⏻ (オン/オフ) ボタン**  
本機の電源をオンとスタンバイモードの間で切り替えます。
- ④ **⏮ (ソース) ボタン**  
AUX → Bluetooth → OPTICAL → COAXIAL → HDMI ARC → USBの順で、音声入力を切替えます。
- ⑤ **+/- (音量) ボタン**  
音量レベルを上げ/下げします。
- ⑥ **AC IN ~ 電源入力**  
AC電源ケーブルを接続します。
- ⑦ **AUX 端子**  
3.5mmオーディオケーブル(別売)で外部オーディオ機器と接続します。
- ⑧ **USB 端子**  
USBデバイスを挿入して音楽を再生します。
- ⑨ **HDMI ARC 端子**  
HDMI ケーブルでテレビに接続します。
- ⑩ **OPTICAL 端子**  
外部オーディオ機器の光デジタル出力端子に接続します。
- ⑪ **COAXIAL 端子**  
外部オーディオ機器の同軸デジタルオーディオ端子に接続します。
- ⑫ **壁掛用ネジ穴**

## 2.2 リモコン

- ①  本機の電源をオンとスタンバイモードの間で切り替えます。
- ②  (ソース) 音声入力を切替えます。
- ③ **SURR** サラウンドのオン/オフを切り替えます。
- ④  (BT) Bluetooth機能のオン/オフを切り替えます。また長押ししてペアリング機能を起動します。
- ⑤ **EQ** プリセットされたイコライザーを選択します。
- ⑥  BT/USB モードで前のトラック/次のトラックにスキップします。
- ⑦ **VOL+/VOL-** 音量レベルを上げ/下げします。
- ⑧  BT/USB モードで再生/一時停止を行います。
- ⑨ **BASS +/-** 低音の音量を調整します。
- ⑩ **TREBLE +/-** 高音の音量を調整します。
- ⑪ **DIMMER +/-** LEDの明るさを調整します。
- ⑫  (ミュート) 音をミュートまたは再開します。



## 3. 準備

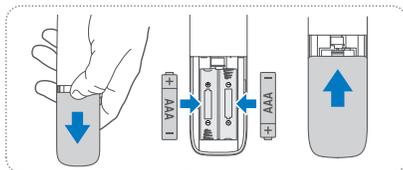
### 3.1 リモコンの準備

付属のリモコンで、離れた場所から機を操作することができます。

- ・ リモコンの操作有効距離は6mです。
- ・ 有効距離の範囲でも本機とリモコンの間に障害物があると、リモコン操作できない場合があります。
- ・ 赤外線を発生させる他の製品の近くでリモコンを操作した場合、または赤外線を用いる他のリモコンが本機の近くで使用されると、誤動作する可能性があります。逆に、他の製品が誤動作を起こす可能性があります。

### 3.2 リモコンの電池交換

- 1 リモコンの裏のカバーを押してスライドさせ、電池収納部を開く。
- 2 **単4電池**を2本挿入してください。電池の(+)および(-)端部が電池収納部に示されている(+)および(-)の端部に一致することを確認します。
- 3 電池収納部のカバーを閉じます。



### 電池に関する注意事項

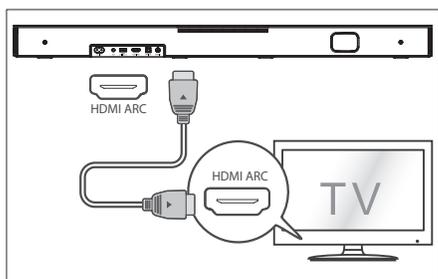
- ・ 電池を正しい極性(プラス+とマイナス-)で挿入してください。
- ・ 同じ種類の電池を使用してください。異なるタイプの電池を一緒に使用しないでください。
- ・ 充電式または非充電式電池のいずれれも使用できます。電池のラベルにある注意事項を読んでください。
- ・ 電池カバーやバッテリーを取り外すときには、指の爪に注意してください。
- ・ リモコンを落とさないで下さい。
- ・ リモコンに衝撃を与えないでください。
- ・ リモコンに水や液体をこぼさないでください。
- ・ リモコンを濡れた物の上に置かないでください。
- ・ リモコンを直射日光にあてたり、過度の熱源の近くに置いたりしないでください。
- ・ 電池は長期間使用しない場合は、腐食またはバッテリー漏れが発生し、負傷、および/または物的損傷、および/または火災につながる可能性があるためリモコンから取り出してください。
- ・ 指定されている以外の電池は使用しないでください。
- ・ 新しい電池と古い電池を混ぜないでください。
- ・ 充電式の電池でない限り、電池を充電しないでください。

## 4. 接続

### 4.1 HDMI ARC端子で接続する

ARC(オーディオ リターン チャンネル)機能により、1本のHDMIケーブルを使用してHDMI ARC対応のテレビの音声を、本機から聴くことができます。ARC機能を利用するには、テレビがHDMI-CECとARCの両方に適合している必要があります。正しく設定すると、テレビのリモコンを使用して、本機の音量出力(VOL +/- とミュート)を調整できます。

- 付属のHDMIケーブルを本機の **HDMI ARC** 端子から ARC 対応テレビの HDMI (ARC) 端子に接続します。次に、リモコンを押して**HDMI ARC**を選択します。

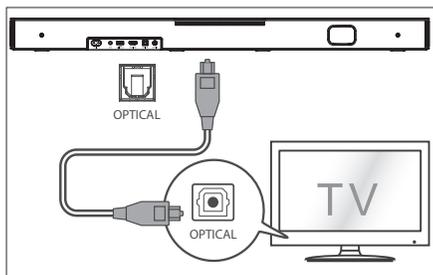


#### ヒント:

- テレビは、HDMI-CEC と ARC 機能をサポートしなければなりません。HDMI-CEC と ARC はオンに設定しなければなりません。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 付属品以外のHDMIケーブルを使用する場合は、HDMI 1.4以上の規格のケーブルを使用してください。

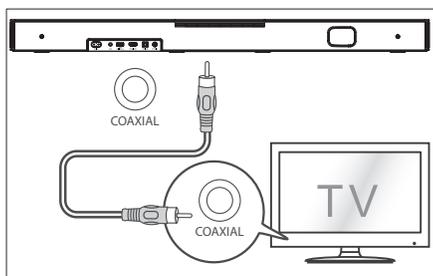
### 4.2 OPTICAL端子で接続する

- 市販の光デジタルケーブルをテレビの OPTICAL OUT 端子と本機の OPTICAL 端子に接続してください。



### 4.3 COAXIAL端子で接続する

- 市販の同軸デジタルケーブルを使用して、テレビのCOAXIAL OUT端子と本機のCOAXIAL端子に接続することもできます。

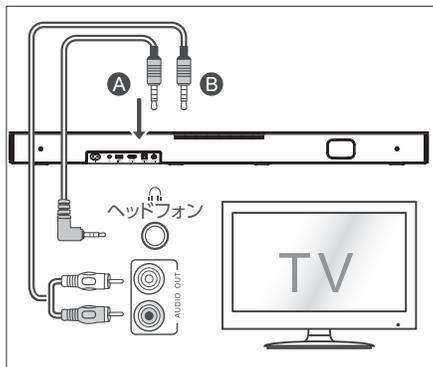


#### ヒント:

- 本機は 外部オーディオ機器からのすべてのデジタルオーディオフォーマットをデコードできない場合があります。この場合、本機はミュートされますが、これは欠陥ではありません。この場合、HDMI ARC/OPTICAL/COAXIAL入力を使用する、外部オーディオ機器(例えば、テレビ、ゲームコンソール、DVDプレーヤ)のオーディオ出力設定をPCMまたはDolby Digitalに設定します。(オーディオ出力設定の詳細については、外部オーディオ機器の取扱説明書を参照ください)

## 4.4 AUX端子で接続する

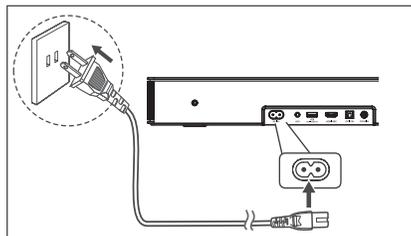
- A. 市販の3.5mm-3.5mmオーディオケーブルを使用して、テレビまたは外部オーディオ機器のヘッドホン端子と本機のアUX端子を接続してください。
- B. 市販のRCA-3.5mmオーディオケーブルを使用して、テレビまたは外部オーディオ機器のオーディオ出力端子と本機のアUX端子を接続してください。



## 4.5 電源接続する

### 製品が破損する可能性があります!

- 電源コンセントの電圧が本機の電源電圧(交流100V)に合致していることを確認してください。
- AC電源ケーブルを接続する前に、すべての接続が完了していることを確認してください。
- AC電源ケーブルを本機のAC端子に接続し次にプラグを電源コンセントに差し込んでください。



## 5. 基本操作

### 5.1 スタンバイ/オン

本機を初めて電源コンセントに接続すると、本機はスタンバイモードになります。

- 本機またはリモコンの **⏻** ボタンを押して、本機の電源を入れてください。
- **⏻** ボタンを再度押して、本機をスタンバイモードに戻します。
- 本機の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 5.2 オート スタンバイ/オート ウェイク

**オートスタンバイ** 本機は、次のいずれかの状態になって 15 分後に自動的にスタンバイモードになります。

- テレビからの接続が切断される
- テレビの電源が切られる
- USBデバイスやBluetooth機器からの再生が一時停止される

**オートウェイク** テレビまたは外部オーディオ機器(AUX / OPTICAL / COAXIAL)からの音声入力を検出すると、自動的に起動します。

#### オートスタンバイのオン/オフ

本機の入力切替をOPTICALに切り替えて、リモコン(**⏮** 早戻し)ボタンと(**⏭** 早送り)をそれぞれ2回連続して押すことで、オートスタンバイ機能のオン/オフを切り替えられます。

#### オート スタンバイ

**オン** 本機は、15分間音声を検出されないと自動的にスタンバイモードに入ります。  
LED状態: ●; 黄色のLEDが3回速く点滅

**オフ** オート スタンバイをオフにして、本機を常に動作させることができます。  
LED状態: ●; 黄色のLEDが3回ゆっくり点滅

#### オート ウェイクのオン/オフ:

(**⏮** 入力切替)と(音量+)ボタンを同時に押すことで、オート ウェイク機能のオン/オフを切り替えられます。

#### オート ウェイク

**オン** 本機は音声入力を検出されると自動的に起動します。  
LED状態: ●●●●●; 白>白>緑>緑

**オフ** 本機は自動的に起動しません。  
LED状態: ●●●●●; 白>白>赤>赤

### 5.3 入力を切り替える

- 本機またはリモコンの  (ソース) ボタンを繰り返し押し、希望するモードを選択します。
- 本機前面のインジケータライトが、現在使用中のモードを表示します。

 ランプ	モード
●赤	スタンバイ
●緑	AUX
●青	BT (Bluetooth)
●オレンジ	OPTICAL
●薄い青	COAXIAL
●白	HDMI ARC
●黄	USB

### 5.4 音量を調整する

- 本機またはリモコンのVOL+/VOL- ボタンを押し、音量を調整します。
- ミュート(消音)をオンにするには、リモコンの  (ミュート) ボタンを押します。  (ミュート) ボタンをもう一度押すか、VOL + ボタンを押して通常のリスニングを再開します。

### 5.5 サラウンドをオン/オフする

- リモコンのSURRE ボタンを押して、サラウンドサウンドをオンにします。このボタンを再度押して、サラウンド サウンドをオフにします。

### 5.6 イコライザー (EQ) 効果を選択する

- 再生中にリモコンのEQボタンを押して、ミュージック、ムービー、ニュース、ゲーム、スポーツ、ナイトから、希望するイコライザーを選択します。

### 5.7 BASS/TREBLEを調整する

- リモコンのBASS +/- ボタンを押して低音レベルを調整します。
- リモコンの TREBLE +/- を押して高音レベルを調整します。

### 5.8 LEDの明るさを調整する

- リモコンのDIMMER +/- ボタンを押してLEDの明るさを調整します。

### 5.9 音声プロンプトオン/オフ

- 本機の [Ⓚ] と [VOL+] ボタンを同時に長押しして、音声プロンプトをオンまたはオフにします。
- 音声プロンプトの音量調整はできません。

状態	 LED の状態
通知オフ	 (赤と白の LED が3回点滅)
通知オン	 (緑と白の LED が3回点滅)

### 5.10 工場出荷時設定にリセット

本機を初期設定にリセットします。

- 本機の入力切替をOPTICALに切り替えて、[Ⓚ] ボタンを長押しします。本機が初期設定状態にもどり、スタンバイモードになります。

モード	初期設定
ソース	ARC
音量	30
サラウンド	オン
調光	MAX
低音	0
トレブル	0
EQ	音楽
オート ウェイク	オフ
オート スタンバイ	オン
通知	オン

## 6. AUX/OPTICAL/COAXIAL/HDMI ARC の操作

- 本機またはリモコンの  ボタンを繰り返し押し、AUX、OPTICAL、COAXIAL、HDMI ARCモードを選択します。

 ランプ	モード
●緑	AUX
●オレンジ	OPTICAL
●薄い青	COAXIAL
●白	HDMI ARC

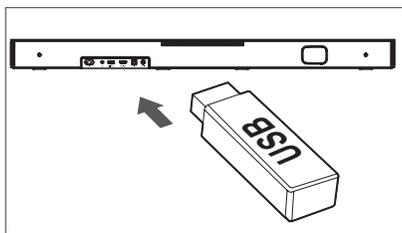
- 再生開始や停止については、外部オーディオ機器を操作してください。
- 本機またはリモコンのVOL+/VOL- ボタンを押して、音量を調整します。

#### ヒント:

本機は 外部オーディオ機器からのすべてのデジタルオーディオフォーマットをデコードできない場合があります。この場合、本機はミュートされますが、これは欠陥ではありません。この場合、HDMI ARC/OPTICAL/COAXIAL入力を使用する、外部オーディオ機器(例えば、テレビ、ゲームコンソール、DVDプレーヤ)のオーディオ出力設定をPCMまたはDolby Digitalに設定します。(オーディオ出力設定の詳細については、外部オーディオ機器の取扱説明書を参照ください)

## 7. USB の操作

- 1 USBデバイスをUSB端子に挿入してください。



- 2 本機またはリモコンの  ボタンを繰り返し押し、USBモードを選択します。
- 3 再生中:

 再生を開始、一時停止、または再開

 前または次のトラックにスキップ

### ヒント:

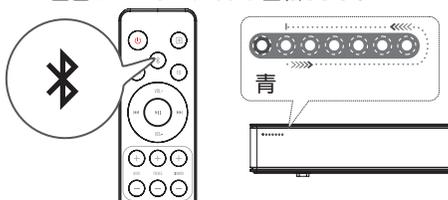
- 本機は最大32GBの USBデバイスに対応しています。
- 本機は WAV / WMA / MP3 / FLAC の再生が可能です。
- USBデバイスによっては本機との相性で使用できない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB 多機能カードリーダーを使用した場合、USBデバイスを認識できないことがあります。
- ファイルの再生中に USBデバイスを取り外さないでください。ファイルが破損する恐れがあります。

## 8. Bluetooth の操作

Bluetooth を通じて、本機をお使いの Bluetooth 機器に接続することで、音声ファイルを本機で聴くことができます。

### 初回ペアリング

- 1 本機の  (ソース) ボタンまたはリモコンの  ボタンを押して、Bluetoothモードを選択します。青色のインジケーターがゆっくりと点滅し、白色のマーキーライトが回転します。



- 2 Bluetooth機器を有効にして、検索モードを選択します。
  - 3 ペアリングリストで **Hisense HS2000N** を選択します。接続完了の音声プロンプトの後、システムが正常に接続され、青色のインジケーターが点灯します。
- 本機を別の Bluetooth機器に接続する場合は、リモコンの  ボタンを長押しして、現在接続されている Bluetooth機器を切断します。ステップ2-3に従って、Bluetooth機器をペアリングしてください。

### Bluetooth接続を切断する

-  ボタンを押し続けると、Bluetooth機器は本機から切断されます。

### Bluetooth機器からの音楽を聴く

- 接続した Bluetooth機器が Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) をサポートしている場合は、本機からBluetooth機器に保存されている音楽を聴くことができます。
  - Bluetooth機器が Audio Video Remote Control Profile (AVRCP) をサポートしている場合は、Bluetooth機器のリモコンを使用して本機の再生操作ができます。
1. 本機をBluetooth機器とペアリングします。
  2. Bluetooth機器を使用して音楽を再生します。
  3. Bluetooth機器に付属のリモコンを使用して再生を操作します。

 再生を開始、一時停止、または再開

 前または次のトラックにスキップ

### ヒント:

- 本機とBluetooth機器の間の動作範囲は約 8メートルです。
- すべての Bluetooth® 機器との互換性が保証されるわけではありません
- Bluetooth機器と本機の間に障害物があると、動作範囲が短くなることがあります。
- 本機は干渉を引き起こす可能性のある他の電子機器から離してください。
- 本機が操作可能な範囲を超えて移動すると、Bluetooth機器とのペアリングが切断されます。

## 9. トラブルシューティング

調子が悪い時は、まず以下の点を確認してください。それでも改善しない場合は弊社サポートセンターへお問い合わせください。危険ですからご自分では分解しないでください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機にAC電源ケーブルが正しく接続していることを確認してください。</li><li>● AC コンセントに電源が供給されていることを確認してください。</li><li>● スタンバイ[⏻]ボタンを押して本機をオンにしてください。</li></ul>
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 表示されている極性(+/-)の通りに電池を挿入してください。</li><li>● 電池を交換してください。</li><li>● リモコンを本機前面のリモコンセンサーに向けて操作します。</li></ul>
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 正しく聞きたい外部オーディオ機器が選択されているか、LEDインジケータで確認します。</li><li>● 本機がミュートされていないことを確認します。🔇 またはVOL+/- ボタンを押します。</li><li>● 本機またはリモコンの⏻ を操作して一旦スタンバイモードにし、再度同じ操作を行って電源オンにします。</li><li>● HDMI、OPTICAL、COAXIAL接続の外部オーディオ機器の音声の場合は、外部オーディオ機器のオーディオ設定をPCMかDolby Digitalに設定します。</li><li>● 本機は、外部オーディオ機器からのデジタルオーディオフォーマットをデコードできない場合があります。この場合本機はミュートとなり音声は出ませんが、故障ではありません。</li></ul>
Bluetoothのペアリング時、“Hisense HS2000N”が表示されません	<ul style="list-style-type: none"><li>● Bluetooth機器のBluetooth機能が有効になっていることを確認してください。</li></ul>
電源がスタンバイモードになる	<ul style="list-style-type: none"><li>● AUX接続された外部オーディオ機器からの入力信号レベルが低すぎる場合、オートスタンバイが働いてスタンバイモードになる場合があります。外部オーディオ機器からの入力信号レベルを上げるか、オートスタンバイをオフにしてください。</li></ul>

## 10. 仕様

ブランド	Hisense
モデル	HS2000N

### サウンドバー

電源	100 V～ 50/60 Hz
電力消費	50 W < 0.5 W(スタンバイ)
USB	5 V $\Rightarrow$ 500 mA Hi-Speed USB (2.0) / FAT32 / FAT16 32G(最大)、WAV / WMA / MP3 / FLAC
寸法(幅 × 高さ × 奥行)	800 × 62 × 105 mm
正味重量	2.22 kg
入力感度(AUX端子)	700 mV
周波数特性(AUX端子)	40 Hz - 20 KHz
動作温度	0°C - 45°C

### ワイヤレス仕様(EU)

Bluetooth バージョン / プロファイル	V 5.3 (A2DP, AVRCP)
Bluetooth 周波数範囲	2400 MHz - 2483.5 MHz
Bluetooth 最大送信出力	≤ 5 dBm

### 実力最大出力(最大オーディオ出力)

実用最大出力合計値 (非同時駆動/JEITA)	120 W
フロント	30 W + 30 W
ウーファー	60 W

### 再生フォーマット

HDMI ARC	Dolby Digital / LPCM 2ch / LPCM / Dolby Digital Plus fs: 44.1, 48, 88.2, 176.4, 192KHz/24bit
光デジタル入力	
同軸デジタル入力	
USB入力	MP3 / WMA / WAV / FLAC MP3: sample rate: 8~48KHz, Bitrate: ≤448kbps WMA: sample rate: 8~48KHz, Bitrate: ≤320kbps FLAC: sample rate: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192KHz, Bitrate: ≤6.5Mbps WAV: sample rate: 44.1/48/88.2/96/176.4/192KHz, Bitrate: ≤6.5Mbps
Bluetooth	SBC

### リモコン

距離/角度	6m / 左右30°
電池の種類	単4型乾電池×2個 (1.5 V × 2)

- デザイン、仕様は予告なく変更される場合があります。



# 保証書 (持込み修理)

品名	シアターサウンドシステム	型名	HS2000N
製造番号			
購入日	年	月	日
本体保証期間：ご購入日より1年間			
お客様	お名前	〒	
	ご住所		
	電話番号		
販売店	店名・住所・電話番号		

## ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2  
新川崎三井ビルディング ウエストタワー19階

この保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※保証規定に関しては、裏面をご覧ください。

## サポートセンター

● お電話によるお問い合わせ

受付時間：365日 9:00～18:00

フリーダイヤル：0120-835-111 (固定電話から、土日祝は受付のみ) ナビダイヤル：0570-033-677 (携帯電話から、有料)

※ フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合：050-2018-6700(有料)

● FAXによるお問い合わせ FAX番号：0570-061-117 (有料)

● メールによるお問い合わせ <https://www.hisense.co.jp/contact/> のお問い合わせページ から

## <保証規定>

この保証規定は、ハイセンスジャパン株式会社の製品に対するお客様への保証内容を明記したものです。この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

また、一定の期間・条件のもとで、弊社からの保証をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### <1 保証の期間>

1. 保証期間は、一般家庭用でのご使用の場合、ご購入より1年間となります。

### <2 保証の内容>

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
- 保証の範囲は、修理・交換を限度とします。故障その他による逸失利益、もしくは製品の使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。また、本機の不具合・修理など、何かしらの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。いかなる場合においても、弊社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。
- 次の場合は保証期間内であっても保証適用外、または有償修理とさせていただきますので、検査料・技術料・部品代・送料(片道)をご負担いただきます。
  - 保証書の提示がない場合。
  - (イ)保証書に、お買い上げ日、販売店印がない場合、または製造番号が本体の製造番号と一致しない場合。
  - (ウ)ご使用上の誤り、または弊社以外の手で修理、改造が行われた際の故障及び損傷。
  - (エ)火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷。
  - (オ)故障の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
  - (カ)お買い上げ後の取り付け場所の移動、運送、落下などによる故障及び損傷。
  - (キ)消耗または摩耗した部品の交換、汚損した部品の交換。
  - (ク)特定の機器との組み合わせによって生じる不具合(相性)・故障の場合。
  - (ケ)一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障及び損傷。
  - (コ)電池の液漏れなどにより生じた障害。
- 保証期間内外を問わず、弊社でお預かりした製品が検査にて故障及び損傷がなく、正常に動作している場合は、所定の料金を申し受けます。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
- 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

(保証期間内の保証に関するご注意)

保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

● 修理のご依頼に際して「修理規約」をご一読ください。

<https://www.hisense.co.jp/repairpolicy.html>



20302200x